

2014 モーター スポーツ ファン 感謝デー



鈴鹿サーキット イベントレポート



イベントガイド[エンジョイガイド]

【イベント概要】

- イベント名称：2014 モータースポーツ ファン感謝デー
- 日 程：2014年3月1日(土)・2日(日)
- 主 催：株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 協 力：鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
NPO法人 鈴鹿モータースポーツ友の会
- 会 場：鈴鹿サーキット国際レーシングコースおよび
ピット・パドックエリア・園内各所
- 天 候・動 員：3月1日(土)曇 12.6℃ 東北東の風1.4m/s 19,000人
2日(日)雨 12.0℃ 西北西の風4.9m/s 19,000人
- 取 材 者：74媒体 146名

本格的なモータースポーツシーズン開幕を告げる恒例のビッグイベント「2014モータースポーツファン感謝デー」が鈴鹿サーキットを舞台に開催されました。

今年は4輪のSUPER GTやスーパーフォーミュラのマシンが一新されるなど新時代の幕開けを予感させ、2輪も話題満載。豪華なゲストやヒストリックマシンも多数登場しての多彩な2日間となり、2014年シーズンへの大きな期待と可能性を感じさせる週末となりました。



鈴鹿サーキット公式ウェブサイト

<http://www.suzukacircuit.jp/>

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

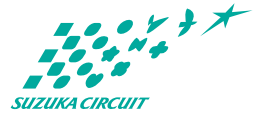
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

レーシングコースイベント1



国際レーシングコースを舞台に、ニューマシンや時代を彩ったヒストリックマシン、そして豪華ゲストが多数登場してのスペシャルイベントが多数展開され、新たなシーズンへの期待が高まりました。

【永遠のライバル対決 星野一義vs中嶋悟】



5度目となったレジェンド対決は、それぞれが監督として2013年を戦ったスーパーフォーミュラSF13で行われ、1日(土)は星野氏、2日(日)は中嶋氏が熱い戦いを制しました。

【Honda F1参戦50周年～伝説の始まり～】



Hondaが初優勝を果たしたRA272を昨年のスーパーフォーミュラチャンピオン山本尚貴選手がデモラン。V型12気筒エンジンの"ホンダミュージック"をとどろかせました。

【SUPER GT新時代】



今年からニューマシンが投入されるGT500クラス。小暮卓史選手、松田次生選手、立川祐路選手が、鈴鹿で初めて3メーカーそろい踏みのデモランを披露しました。

【NSX-GT 進化の先に】



GTレースに栄光の足跡を残すHonda NSX。1995、2000、2014年のマシンが、高橋国光氏、道上龍選手、小暮卓史選手の手でドライブされました。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

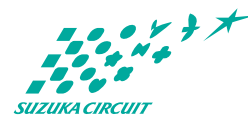
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

レーシングコースイベント2



【スーパーフォーミュラ SF14の革新】



シャシー、エンジンともに今年から一新されるスーパーフォーミュラ。星野一義氏、中嶋悟氏、J.P.デ・オリベイラ選手がその進化について語りました(1日)。

【スーパーフォーミュラ オープニングラップ】



2014年スーパーフォーミュラに参戦する全マシン・選手が集結。グランドスタンド前での各選手の抱負表明に続いてデモレースが行われました(2日)。

【MotoGP SUZUKAプレミアム】



MotoGPに来年から参戦予定のSUZUKIの参戦開発車両が登場。青木宣篤選手(左から2人目)のライディングで青山博一選手(Honda)、中須賀克行選手(YAMAHA)とともにデモランを実施しました(2日)。

【“8耐>&S耐”鈴鹿トワイライトデモレース】



鈴鹿8耐、SUZUKA 1000km、そしてスーパー耐久のトワイライトデモレースを実施。各マシンライトオンでの走行後には大輪の花火が鈴鹿の夜空を彩りました(1日)。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

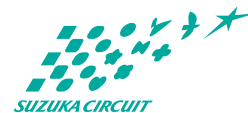
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

レーシングコースイベント3



【ロードレースデモンストレーションレース】



8耐や全日本選手権を戦うJSB1000マシン50台以上が迫力のデモレースを行いました(2日)。

【スーパー耐久デモンストレーションレース】



今年もWTCC(世界ツーリングカー選手権)の併催レースとして開催されるスーパー耐久のマシンによるデモレース(2日)。

【F1 シーズンプレビュー Innovative 2014】



2014年F1の革新のメカニズムとその戦局を川井一仁氏(右)、森脇基恭氏(中)が解説しました。

【D1エキシビション ULTIMATE3】



鈴鹿サーキット初となるD1グランプリマシン3台追走や同乗体験が実施されました。

【N-ONE OWNER'S CUP エキシビション】



今シーズン新たに始まるHonda N-ONEワンメイクレースが、高橋国光氏らのドライブで紹介されました(1日)。

【2&4セレモニー】



2輪と4輪最高峰クラス同日開催となる「2&4レース」を両カテゴリーのトップ選手がアピールしました(2日)。

【交通教育センター 50周年パレードラン】



鈴鹿サーキット交通教育センター(STEC)開設50周年を記念したパレードが行われました(2日)。

【フィナーレパレード】



参加したほとんどのマシンがレーシングコースに勢ぞろいし、豪華なパレードでイベントが締めくくられました(2日)。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

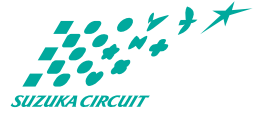
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

ピット・パドック周辺イベント



ピット・パドック周辺およびピット上のホスピタリティラウンジなどでも「ファン感謝デー」ならではのスペシャルイベントが目白押し。「JAF鈴鹿グランプリ」の復活やヨシムラの8耐サプライズなどビッグトピックスも発表されました。



ヨシムラジャパン60周年を記念したトークショーで、辻本聡選手とケビン・シュワーツ選手のレジェンドチームによる8耐参戦が発表されました(1日)。



ピットウォークに加えてグリッドを開放、各マシンを間近にご覧いただきました。



ピットビル2Fホスピタリティラウンジで行われた星野一義氏、中嶋悟氏のトークショーとサイン会。



ホスピタリティラウンジでの2輪ライダーらによるトークショー。中野真矢氏、青山博一、青木宣篤、中須賀克行各選手(右から)。



ホスピタリティラウンジでの4輪ドライバートークショー。山本尚貴、小暮卓史、中嶋大佑各選手(右から)。



オリジナルデコレーションクッキーの出来ばえを競う「アイシングクッキー選手権」。審査員の中野真矢氏を囲んでの記念撮影タイム。

PICK UP 1

3月1日(土)、ホスピタリティラウンジで鈴鹿サーキット2014年活動内容の記者発表会が行われ、日本自動車連盟(JAF)会長 小栗七生様よりスーパーフォーミュラ最終戦が28年ぶりに「JAF鈴鹿グランプリ」のタイトルにて開催されることなどが発表されました。



SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

鈴鹿サーキットでは1987年よりモータースポーツの発展、振興、ならびにファン拡大につながる顕著な活躍、活動、功績を残された個人・団体を対象に「モータースポーツ顕彰」を、また大きな活躍が期待される個人を対象に「ライジングアワード」を設定し、その功績を広く知っていただくとともに感謝の意を表してまいりました。

2013年度も、東京運動記者クラブモータースポーツ文科会、JMS(日本モータースポーツ記者会)、JRPA(日本レース写真家協会)、RRPA(日本ロードレースプレス協会)の皆さまのご協力のもとに表彰者・団体を選出し、顕彰を決定いたしました。

その授与式がポディウム(表彰台)で3月2日(日)に行われました。



受賞者の皆さん
左から 山本尚貴、Team KAGAYAMA 加賀山就臣、株式会社NIPPO、阪口晴南(敬称略)

モータースポーツ顕彰(2013年に顕著な活躍をした個人・団体など)

山本尚貴(やまもと なおき)

昨年、選手権ポイント3位で迎えたスーパーフォーミュラ最終戦(鈴鹿)でレース1、レース2ともポールポジションを獲得。決勝でもそれぞれ優勝、3位となり、逆転で国内トップフォーミュラのチャンピオンとなる。SUPER GTにおいても「ポッカサッポロ1000km」で初優勝を果たすなど目覚ましい活躍を見せている。またカート教室を開き、モータースポーツを通じたさまざまな人生経験を子どもたちに伝えるなど幅広い活動を行っている。

モータースポーツ特別顕彰(2013年に特別な活躍をした個人・団体など)

Team KAGAYAMA

加賀山就臣選手が立ち上げたチームで、芳賀紀行選手、ケビン・シュワーツ選手を擁し、鈴鹿8耐に参戦。メーカーの垣根に捉われないドリームチームとして国内外から大きな注目を集める。決勝では見事3位表彰台を獲得し、7万人を超える観客に興奮と感動を与えた。

モータースポーツ功労顕彰(長年にわたり、モータースポーツの発展に貢献した個人・団体など)

株式会社NIPPO

さまざまなレースを開催するサーキットを、パートナーとして鈴鹿F1を第1回から第25回大会まで、絶えることなくささげている。精度の高い舗装技術はF1ドライバーからの評価も高く、日本におけるモータースポーツの発展に多大な役割を果たしている。

2014年ライジングアワード・4輪 (2014年に活躍が期待される4輪選手)

阪口晴南(さかぐち せな 14歳)

2013年全日本カートFK2クラス、鈴鹿選手権J-RMCクラスチャンピオンを獲得。前者では全戦ポールポジションに輝くなど圧倒的な速さを見せつけた。10歳の頃には当時スクールの講師だった元F1ドライバー・中野信治選手を抑えて勝利するなど非凡な才能を発揮。次世代の4輪レース界を担う若手として期待を集めている。

2014年ライジングアワード・2輪 (2014年に活躍が期待される2輪選手)

國峰啄磨(くにみね たくま 15歳) ※授与式は欠席

2013年全日本ロードレース選手権J-GP3クラスでシリーズ3勝を挙げ、年間ランキング2位を獲得するとともに、12~17歳で争われるユースカップの年間チャンピオンに輝く。最終戦鈴鹿では負傷を抱えながら2位表彰台に入るなど強さも見せた。ロードレース界期待の若手。

レースマニアをうならせるイベント、家族で楽しめる企画、地元諸団体の盛り上げなど多彩な趣向が園内各所で実施され、歓声の絶えない週末となりました。



GPスクエアで行われた歴代マクラーレンHonda F1マシンの特別展示。



GPスクエアで行われたSUPER GT新旧500クラスマシンの特別展示。



GPスクエアで行われた新旧スーパーフォーミュラマシンの特別展示。



マシンのメカニズムを解説しながらの「スーパーフォーミュラ解体ショー」。解説は小倉茂徳氏です。



今年F1に復帰する小林可梦偉選手からのビデオレターがサーキットビジョンで紹介されました。



可梦偉選手への応援メッセージを掲げた写真をモザイクアートにする撮影がレーシングシアター前で行われました。

PICK UP 2

鈴鹿市をはじめ三重県内の5市1町で構成される「鈴鹿日本F1グランプリ地域活性化協議会」はGPスクエアにPRブースを出展、人気の「ブルバックカーグランプリ」や地元ゆるキャラ出演、地元名産品の紹介などを展開しました。



SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

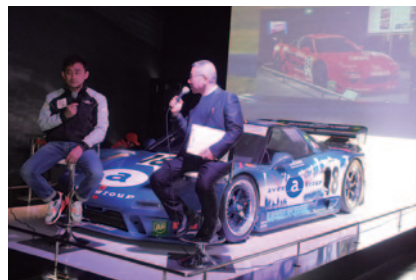
120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733



小倉茂徳氏がターボエンジンについて子どもたちにわかりやすく解説した「はやさのヒミツ教室」(レーシングシアター前)。



レーシングシアターに展示されたHonda NSX(全日本GT選手権仕様)前で行われた道上龍選手トークショー。



レーシングシアター前で行われたフォーミュラマシンタイヤ交換体験。



レーシングスーツ姿で記念撮影ができる「マクラーレンF1フォトスタジオ」(レーシングシアター前)。



ポディウム(表彰台)で行われた鈴鹿サーキットクイーンの交代式(2日)。



ご自分の車で国際レーシングコースを無料体験走行いただいたマイカーラン(2日)。

PICK UP 3

NPO法人「鈴鹿モータースポーツ友の会」はGPスクエアでのPRブース出展をはじめ、子どもたち向けの特別イベントなどを実施しました。



VIPスイートでの「子どもモータースポーツ教室」



“本物の世界”を体感、レーシングスピードでの同乗走行。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【PRブースご出展各社】



株式会社イチピーアイ



株式会社EXPRIDE



株式会社M-TEC



エンケイ株式会社



株式会社エンドレスアドバンス



小倉クラッチ株式会社



株式会社カワサキモータースジャパン



シーシーアイ株式会社



鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会



NPO法人鈴鹿モータースポーツ友の会



株式会社スマート



株式会社ディクセル



日本サン石油株式会社



株式会社日本レースプロモーション



有限会社NUTEC Japan



PIAA株式会社



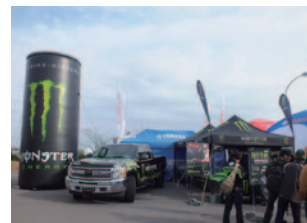
株式会社ブリヂストン



ブリッド株式会社



本田技研工業株式会社/
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン



MONSTER ENERGY



ヤマハ発動機株式会社



横浜ゴム株式会社



株式会社レイズ



株式会社ワフ

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【サーキットビジョンご協賛各社】



株式会社エフ・シー・シー



株式会社オートボックスセブン



株式会社クラウン警備保障



コカ・コーラ ゼロ



シーシーアイ株式会社



株式会社デンソー



TwellV



日本特殊陶業株式会社



株式会社ブリヂストン



本田技研工業株式会社



株式会社ホンダモーターサイクルジャパン



横浜ゴム株式会社

【イベントガイドご出稿】



A3 カラー 8p 38,000部発行

株式会社ジェイ・スポーツ

【場内のほりご掲出】



株式会社ジェイ・スポーツ

【販売ブースご出展各社】

- 株式会社イー・スマイル
- 有限会社エムズクラブ
- 株式会社M2style
- 株式会社KARZ
- 株式会社チームロッソ
- 株式会社P4
- 引時計店
- 有限会社フォレスト
- 株式会社プロ・フィットスポーツ

新パートナー様ご紹介

新たに年間ご協賛(看板掲出およびネーミングライツ)をいただいたパートナー様をご紹介させていただきます。

パートナー様：日立オートモティブシステムズ株式会社
 名称：日立オートモティブシステムズシケイン
 場所：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース“シケイン”

掲出および名称使用開始日：2014年3月1日



パートナー様：株式会社クラウン警備保障
 場所：新グランドスタンド北側壁面

掲出開始日：2014年3月1日



SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2014年3月1日現在